

鹿児島県

1. 商品名等

商品名	霧島産ブルーベリー使用 霧島(生)サブレ		
	商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
		<p>「霧島産ブルーベリー 霧島(生)サブレ」は「地元のブルーベリーを霧島の特産品に」という想いから、地元製菓店「有限会社 徳重製菓とらや・霧や櫻や」の協賛のもと、霧島高校生が企画しました。</p> <p>また、「日本観光学会九州支部」の監修を受けて、ブルーベリーの収穫から商品製造・パッケージデザイン・広報活動・販売活動・決算まで、農業の六次産業化を見据えた「キャリア教育(商品開発)カリキュラム」を開発し実践しました。</p>	

2. 学校紹介

学校名	鹿児島県立霧島高等学校	電話	0995-76-0039
住所	鹿児島県霧島市牧園町宿窪田 330-5	F A X	0995-76-0040
担当者	新留 崇夫		
U R L	http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kirishima/		
E-mail			
<p>霧島高校は、栗野工業高校と牧園高校を発展的に統合し、平成20年4月に開校した新設校です。両校の伝統を受け継ぎ機械科と総合学科を設置。機械科は、工業技術を身につけるとともに、ものづくりで地域貢献を目指します。総合学科は、人文科学系列、生活科学系列の他に、地域の特色を生かした文化芸術系列、観光マネジメント系列の4系列から構成され、観光教育をキーワードに地域貢献を目指します。平成23年度より「おもてなし活動」を行い、観光名所である嘉例川駅において特産の霧島茶を振る舞い、観光列車「はやとの風」の観光客や地域住民と交流しています。また、系列と連携した商品開発を推進しています。平成29年度から東洋大学国際観光学部、霧島市観光協会、霧島温泉旅館協会、天空の森、牧園町特産品協会等と連携して、教育活動の充実を図っています。</p>			

3. 実施科目等

科目名	課題研究(商品開発班)	単位数	2単位
対象生徒	5名	担当教員数	1名

4. 予算関係(費用)

パッケージ印刷代5万円(学校予算)

5. 開発経緯等

- 平成 30 年 4 月 商品開発の協力企業の検討
 // 全国の商業高校生開発商品約 130 品のデータ分析
 5 月 商品開発の協力企業「有限会社 徳重製菓とらや・霧や櫻や」決定
 // 「日本商業教育学会九州支部」とキャリア教育(商品開発)カリキュラムの検討
 6 月 高校生開発商品の成功・失敗例の分析
 // キャリア教育(商品開発)カリキュラムの完成, 実践開始
 7 月 原材料(ブルーベリー)の収穫体験
 // 霧島高校のキャリア教育の変遷を調査・まとめ
 8 月 日本商業教育学会南九州支部・日本観光学会九州支部合同学会(鹿児島大学)において「霧島高校キャリア教育の歴史と展望」を発表
 9 月 商品企画プレゼンの準備・発表
 // パッケージデザインの検討
 10 月 パッケージデザインの完成
 // マスコミ向け記者発表(霧島市役所)
 // 製造実習・包装・梱包作業・販売準備
 11 月 販売開始(県内 7 店舗:販売実習を本店にて実施)
 // 地域販売実習(きりしまふるさと祭りアミュプラザきりしま物産展)
 // 周辺校連携販売実習(桜島サービスエリア上り線, 下り線)
 12 月 課題研究発表会準備・資料等まとめ
 // 決算報告
 平成 31 年 1 月 課題研究発表会にて発表報告
 ※ K T S 鹿児島テレビにて特集放送, 日本教育新聞・読売新聞・南日本新聞にて記事掲載

日本教育新聞

教育・学校・教育関係の最新ニュース

トップ Topics 施設・コラム 幼稚園・保育園 小学校 中学校 高校 地域・支援団体

10/27 教員記事 産産 産産教育 観光教育の活動で鹿児島県立霧島高校が特別表彰を受賞

商業教育・観光教育の活動で鹿児島県立霧島高校が特別表彰を受賞

■ 2018年10月16日 九州版 産産

Twitter Facebook 印刷する 記事を保存する



特別表彰を受けた鹿児島県立霧島高校

日本商業教育学会南九州支部と日本観光学会九州支部合同の総会・研究会が9月1日、鹿児島大学教育学部(鹿児島市都元1丁目)であり、鹿児島県立霧島高校が研究開発部門で学会特別表彰を受けた。また、同県立川内工業高校が商品開発部門で特別賞を受賞した。

10年前に東野工業高校とやまぎら高校が統合して開校した霧島高校は、高校の伝統を受け継ぎ機械科と総合学科を設置。総合学科には、人文科学、生活科学、情報会計のほか地域の特色を生かした文化芸術、観光ビジネスのコースが設けられた。

副校長が入ったのが、6年前から始めた「おもてなし活動」。観光名所である霧島川原で特産の霧島茶を贈る贈った。観光列車「はやとの風」の乗客や地域住民などと交流。また、周辺高校と連携して「おもてなし活動」のほか商品開発を推進した。

3年前からは、産産業界協同組合主催の産産アフタヌーンティーパーティに参加。また、市観光協会のシオツアガイドや、霧島温泉郷のホテル・旅館での実習。さらには霧島茶に続く特産品としてブルーベリーを使った新商品開発も手がけている。

今回の特別表彰は、商業教育と観光教育の活動を、地域と協働しながら長期的に実践している学校に贈られるもの。一方、川内工業が開発した商品は、「じゃこらんたん」。地元特産のちりめんじゃこをアーモンドを使った焼き菓子で、販売もされている。

6. 販売形態・期間

- ①
・
無
薩摩菓子処とらや・霧や櫻や 「本店」「アミュプラザ鹿児島店」「えきマチ1丁目店」
「イオン鹿児島店」「イオン始良店」「鹿児島空港 ANAFRESTA」
「公式オンラインショップ <https://www.kiriyasakuraya.com/>」
いわさきコーポレーション 株式会社「桜島サービスエリア 上り線, 下り線」

7. 協力者等

- ①
・
無
有限会社 徳重製菓とらや・霧や櫻や
いわさきコーポレーション 株式会社

8. 商標登録の有無

- 有
・
無

9. 今後の課題・展望等

キャリア教育(商品開発)カリキュラムを見直し, 当該学年に合ったカリキュラムのマネジメントが必要である。今後は, 商品販売を中心としたカリキュラムを作成する。商業教育の一つである「販売実習」を, 学校イベントや地域活動・行政や地域周辺校と協働して実施したい。
 また, 販路拡大も課題である。商業を学ぶものとして流通の仕組みを知り「営業活動」を行うことはビジネスの基本である。生徒たちによる「販売促進活動」を企画・実践したい。